



「革新的ソーシャル・ファイナンス手法の開発」

学習院大学

【国際研究教育機構 准教授 小林立明】

研究者紹介

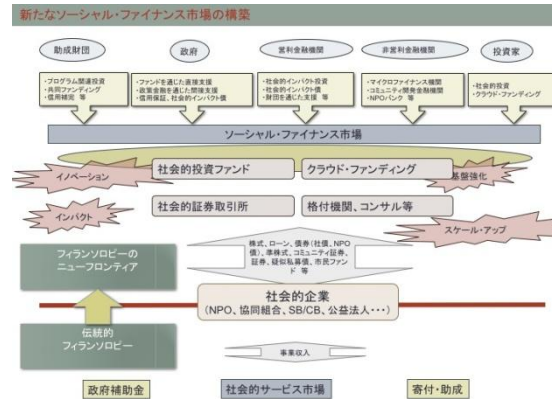
東京大学教養学部関連社会科学専攻・ペンシルヴァニア大学非営利組織指導者育成修士課程卒業(修士)。国際交流基金・日本財団勤務、ジョンズ・ホプキンス大学市民社会研究所国際フィナンソロピー・フェロー等を経て現職。「フィナンソロピーの新たなフロンティア」として、社会貢献と社会的課題の解決に資するファイナンスのあり方を研究しています。

【キーワード: 社会的インパクト投資、ソーシャル・ファイナンス、戦略的grant・メイキング、社会的インパクト評価等】

本研究の目的・内容

格差・貧困の拡大、地方の衰退、少子高齢化など、日本社会は様々な社会的課題を抱えています。この解決には、従来のような政府補助金や個人の寄付だけでなく、投融資やクラウドファンディングなどの新たなファイナンス手法が求められます。

主要先進諸国では、戦略的grant・メイキング、社会的インパクト投資、社会的インパクト債(SIB)、NPO債、準株式、社会的証券取引などの新たなソーシャル・ファイナンス手法が開発されており、またこの成果を検証する社会的インパクト評価手法やモニタリング手法も発展しています。さらに、地方自治体レベルでも、このような新たなソーシャル・ファイナンスを活用した試みが広がっています。



本研究の新規性・優位性、成果の応用・活用

このような革新的なソーシャル・ファイナンス手法は日本においても導入可能です。すでに、社会的インパクト債(SIB)は一部の自治体に導入されており、また社会的インパクト投資を専門とする機関も登場しています。さらに助成だけでなく投融資を活用した支援を行う財団も登場しました。こうした新たなファイナンス手法の導入により、社会的企業やソーシャル・ベンチャーの成長・スケールアップなど、従来とは異なる社会的インパクトの実現が可能となります。

主な研究業績

【著書】・「英国チャリティ: その変容と日本への示唆」(2015年)、弘文堂(共著)

【調査】・「国際grant・メイキングの課題と展望」(2013年)、笹川平和財団委託調査

【講演】・「ソーシャル・ファイナンスの最新動向」(2017年)、ファンドレイジング日本2017

・「海外のSIBの動向と日本のSIBの可能性」(2017年)、NPO推進北海道会議主催シンポジウム

【メディア】・NHKクローズアップ現代+「ソーシャル・インパクトの衝撃」(2016年7月11日)コメンテーター 等

応対できる研究・企業等への希望

1. 共同研究
2. 受託研究/評価試験
3. 学術指導/コンサルティング
4. 講演/出張講義
5. 寄付金受入
6. 報道等の取材/出演
7. その他()

研究者より: ・ソーシャルファイナンスに関する調査や新たな手法開発の相談を歓迎します。

・ソーシャル・ファイナンスや評価を担う人材育成プログラムの開発にも対応します。

・個別のNPOや社会的企業のファンドレイジングのご相談には応じられません。



学習院大学 広報大使

さくまサン

©'12-'18 GAKUSHUIN

【お問い合わせ】

学習院大学 研究支援センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL: 03-5992-1228 Mail: Ken9-off@gakushuin.ac.jp

URL: <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/research/index.html>

